

競技注意事項

1. 競技規則について

競技は、2024年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
日本陸上競技連盟競技規則の規定に適合しないシューズの使用を禁止する。-

2. 練習会場等について

- (1) メイン競技場外の投擲練習は禁止する。招集終了後メイン競技場内で審判の指示で練習を行う。
- (2) サンサンデッキ下駐車場での全ての練習を禁止する。
- (3) 雨天練習場は両日とも使用可とする。ただし、窓から外は競技エリアであるので、外へ出ないこと。

3. 招集について

- (1) 招集時間は、以下のとおりとする。招集場所は北側倉庫前とする。

招集時間	開始	終了
トラック	25分前	15分前
フィールド	50分前	40分前
走高跳	60分前	50分前
棒高跳	90分前	80分前
砲丸投	40分前	30分前

- (2) リレーオーダー用紙は、競技日程に記載された時刻までに提出すること。

4. 競技について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (2) 男子5000mは、タイムレース決勝とする。
- (3) 800mは、セパレートスタートする。Wレーンを採用する組は、アウトレーンに2名ずつ入る。
- (4) 男女5000m競歩は、競技運営上の理由から途中で競技を止める場合がある。35分を超えて次の周回に入らない。
- (5) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで実施する。
- (6) 三段跳の踏切板は男子11m、女子は9mでおこなう。
- (7) フィールド競技の公式練習は、原則2回とする。
- (8) 携帯電話やトランシーバー、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDもしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではならない。認められる助力の範囲としてタブレット等を使用する場合は審判員の指示に従うこと。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸部と背部に着けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で受け取り、1500m以下及び4×100mRのアンカーはパンツの右後方、3000m以上及び4×400mRの2走・3走はパンツの左右後方につけること。

6. 競技の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順序は、それぞれプログラム通りとする。ただし準決勝以後は主催者で抽選して決定する。
- (2) トラック競技においてプラス出場者が決定数を超える場合、同記録者については、写真判定を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。

7. 競技用具について

- (1) 棒高跳用のポールは跳躍場において審判員が検査する。やり、ハンマー、砲丸、円盤は各競技1時間前から招集完了時刻まで第1ゲート横（フィニッシュ側）器具庫内において検査する。検査に合格した器具は、競技場借上げとして使用することができる。競技終了後、同じ場所で返却する。
- (2) スパイクの長さは9mm以下を使用する。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。

8. フィールド競技計測ラインについて

※荒天の場合は審判長が指示する。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男子	5 m 7 0	1 1 m 5 0	8 m 0 0	2 0 m 0 0	3 5 m 0 0	
女子	4 m 6 0	9 m 8 0			2 0 m 0 0	

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

※荒天の場合は審判長が指示する。

		練習	試技				
男	走高跳	1.50・1.65・1.75	1. 5 5	1. 6 0	1. 6 5	1. 7 0	以後3cmずつ
女	走高跳	1.30・1.40・1.55	1. 3 5	1. 4 0	1. 4 5	1. 4 8	以後3cmずつ
男	棒高跳	2.40・3.20・4.00	2. 5 0	2. 7 0	2. 9 0	3. 1 0	以後10cmずつ
女	棒高跳	2.10・2.60・3.10	2. 1 0	2. 3 0	2. 4 0	2. 5 0	以後10cmずつ

第1位が複数出た時は順位決定を行う。また、第6位が複数出た時は代表決定を行う。

この時のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

10. 表彰について

1位から6位の入賞者には賞状を授与する。1位から4位までの選手は結果の正式発表後10分以内に中央玄関ロビーに集合すること。表彰を受ける選手は、ユニフォームを除くチームジャージ等で行う。

4位から6位までの賞状は、各学校顧問が受け取り、持ち帰る。(1階ロビー)

11. 東海高校新人陸上競技選手権大会について

各種目6位までの入賞者6名には、10月26・27日 三重交通Gスポーツの杜伊勢にて行われる、第27回東海新人陸上競技選手権大会への出場権を与える。競技結果正式発表後すぐに玄関ロビーで受付を行うこと。都合により出場を辞退する場合は、競技結果正式発表後、30分以内に受付まで連絡すること。出場辞退があった種目は、決勝出場者(優先順位:A決勝→B決勝→予選記録上位)より順に繰り上げ推薦し、出場権を与える。ただし、招集完了時点で出場予定者が6名以内の種目については、出場者に東海への出場権を与える。

12. その他

- (1) 補助員は、両日とも8時00分に、1階正面玄関前に集合すること。
- (2) 各自が使用した場所は、責任を持って清掃し、ごみも必ず持ち帰ること。
- (3) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

参加人数・参加校数

	男子	女子	合計
岐阜	282	139	421
西濃	77	44	121
中濃	122	54	176
東濃	101	61	162
飛騨	61	26	87
合計実人数	643	324	967
合計参加校	60	56	62

- (4) 撮影禁止エリア(巻末参照)におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止します。
- (5) 競技場(雨天走路を含む)および補助競技場内には、選手および競技役員以外は立ち入らないこと。